

電力流通機器の設備保全協業について

2023年8月23日

東芝エネルギーシステムズ株式会社
株式会社 九電ハイテック

東芝エネルギーシステムズ株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：四柳端、以下「東芝 ESS」）と、株式会社 九電ハイテック（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：山崎尚、以下「QHT」）は、この度、開閉器や変圧器などの電力流通機器を高度かつ効率的に保全していくための協業（以下「本協業」）について合意しました。

高度経済成長期に設置した電力流通設備が高経年化していく中で、設備更新工事の増加や今後の少子高齢化の進行に伴う電気技術者の減少などにより、設備保全技術の維持が困難になることが懸念されます。

このような中、両社はお互いのリソースを補完し合い、より効率的な保全体制を確立するため、協業に合意しました。具体的には、東芝 ESS では現在、電力流通機器の保全業務を行う作業員にライセンスを発行していますが、今回の協業により、QHT の作業員が東芝 ESS の所定の教育を受講できるようになり、このライセンスを取得することで、東芝 ESS 製の対象機器に関して保全業務が行えるようにします。

本協業により、東芝 ESS は既設機器のアフターサービスの負担軽減や新規機器の製造増加への対応に電気技術者を振り向けることができ、QHT は、親会社である九州電力送配電株式会社が保有する東芝 ESS 製機器の保全業務に対応するための技術・技能の向上やメンテナンス事業の拡大に繋がっていきます。

両社は、今回の電力流通機器の設備保全体制を構築することで、引き続き、電力の安定供給を支えるとともに、社会の皆さまにご満足いただけるようなサービスの提供を目指して参ります。

以 上

(別紙)

電力流通機器の設備保全協業の概要

設備高経年化や少子高齢化等の環境変化を踏まえた「設備保全技術の維持」に向けた対応が必要

東芝エネルギーシステムズ

- ・保全技術の指導、ライセンス発行
- ・ライセンス発行者の現場技術指導において、リモートにて補完

保全協業締結



九電ハイテック

- ・東芝ESSの保全技術教育に参画
- ・教育終了後、ライセンスを取得
- ・ライセンスを用い、現場での技術指導を実施
- ・ライセンスは九州電力送配電(株)の設備のみならず、一般需要家、発電事業者設備にも適用可能

九州電力送配電(株)
送変電設備



一般需要家・発電事業者
受変電設備

